

## アトモフ株式会社

所在地 604-8101 京都府京都市中京区  
柳八幡町 75-6 LS 京都ビル 3F  
URL <https://atmoph.com/ja>

## 世界とつながる窓 Atmoph Window 2

Atmoph Window 2 は、Atmoph が独自で 4K/6K 撮影した 1,200 本以上の風景映像とリアルなサウンドで、部屋に開放感と癒しの時間をもたらす。「世界は広い」ということを体感し、実際に旅行に行ってもらいたいという想いが Atmoph の根底にある。同時に、SF 映画にあるような、家庭の中の新しいインターフェースになることを目指している。

## 会社概要

## ◆ 事業概要

アトモフ株式会社は、壁に掛けるだけで世界の風景を見ることができる窓型スマートディスプレイ「Atmoph Window 2」と、そのデジタル窓に映し出す映像コンテンツを販売している。Atmoph Window 2 では、独自で 4K/6K 撮影した 1,200 種類以上の風景映像とリアルな音響で部屋に開放感と癒しの時間をもたらす。

同社は、「日々を、冒険にする。」をビジョンとし、窓から見える世界各国の風景を見ることで、冒険心を刺激し、新しい世界を知り、一步を踏み出すきっかけをつくりたいと考えている。世界各国で自宅でのテレワークが主流になっている中、旅行へ訪れている気分になりながら仕事ができる。また、家族で過ごす時間が増えている今、デジタル窓からの風景を見ながら旅行の計画を立てたり、昔の思い出を語ったりする団欒のきっかけにもなっている。家で過ごす時間の高質化を図るため、自然とテクノロジーの新しい繋がり方を模索している。

## 特徴・強み

## ◆ ビジネスモデルの特徴と企業の強み

製品のコアユーザーは、旅行やインテリア、新しい機器を好む 30~50 代の男性である。ストレス解消を目的とする顧客や、普段と違う風景が見たいというニーズもあり、景色の良い場所に住む人からの需要も存在する。スマートディスプレイを扱う他社では BtoB で市場展開する企業も多いが、

アトモフ株式会社は全体の 9 割を家庭向けの BtoC で市場展開している。製品の購入とは別に、月額 980 円のサブスクリプションサービスとして、風景コンテンツが見放題になるストリーミングサービスを行い収益化している。

同社や提携カメラマンが世界の約 3,000 カ所の風景コンテンツを 6K カメラで動画撮影している。定点カメラでデジタル窓専用に撮影を行い、1,000 以上の風景動画を独自で保有している点が同社の最大の強みになっている。また、宇宙航空研究開発機構 JAXA や、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社と業務提携を築き、オリジナルで CG コンテンツを販売しながら知名度を上げている点も強みといえる。さらに、日本全国で注文数を伸ばす中、アメリカやヨーロッパなど海外領域で既に売上が全体の 15%を占めていることも強みである。

## 【Atmoph Window 2】



## 起業に至った経緯

### ◆ 事業にかける想い

アトムフ株式会社 CEO の姜氏はロボット研究者を目指すために南カリフォルニア大学でコンピュータサイエンスを専攻していた。ロサンゼルスのアパートで独り暮らししていたが、窓を解放してもカリフォルニアの青い海やヤシの木などの風景は見えず、また慣れない言葉と新天地での日々の学業、ラボでの研究などでストレスを感じていた。ストレスを紛らわすために、テレビやタブレットなどで環境映像を鑑賞したりしていたが、どれも何か違うと感じ、自分自身が理想とするプロダクトを作りたいという漠然とした想いも持っていた。

以後 10 年間、ストレスを生む部屋の閉塞感を解決するアイデアを考え続けた結果、「家の景色は変えられないが、それをどうにか変えられるようにすればいいのではないか」との考えが過った。当時 35 歳であったが、「行動に移さなかったことを年寄りになってから後悔しないか」と考えた際に、後々「あれは私が考えたアイデアだったのに」と後悔したくないと思い、起業することを決意した。

世界初のスマートなデジタル窓、Atmoph Window 2 は、壁に掛けるだけで世界の景色や音が楽しめ、開放的な気分が味わえる製品である。企業のビジョンは「日々を、冒険にする。」であり、家での時間を過ごしやすくするだけでなく、デジタル窓に映し出されたまだ見ぬ世界中の風景を知ってもらい、最終的には旅行に繋がりたいと考えている。

今後、テレビやパソコンを持たない人も徐々に加え、いずれスマートフォンも姿を消していくと考えている。AR や VR、イヤホン型、眼鏡型等の機器が世に出てきているが、それらと共存しながら新たなインターフェースを担いたいと考えている。

### 【世界の絶景を動画で撮影している様子】



## 将来展望

### ◆ 今後の事業展開

今後、事業展開を行うにあたり、1) 家の中で過ごしやすい時間の提供、2) 世界を知る機会の提供、3) 新しいインターフェースの創造、の 3 点を実現していきたいと考えている。Atmoph Window 2 は累計 1 万台を販売しているが、今後その数を 100 万台に増やしていく予定である。製品の販売は、自社サイト、Amazon、楽天市場のオンラインで行っている。

現在、主にインターネット上で広告を行っている。海外市場における認知活動については、特にオンラインマーケティングに注力している。多言語化の適応が遅くなれば、販売やマーケティングの機会損失を生む可能性があるため、日本語や英語に加えて、中国語や韓国語、ドイツ語などでの対応も進めている。今後は、世界の各国を対象に売り出せる Amazon(US)等のオンラインストアで販売していきたいと考えている。また、Youtube で商品紹介も検討している。さらに、影響力のある Youtuber に取り上げてもらうことも認知度を向上させるための一つの手段であると認識している。

### 【アトムフ株式会社の社員集合写真】



(令和 4 年 2 月公表)